

ザンビアでの辺地巡回診療活動

ザンビア共和国での医療活動を始めたきっかけは、ウガンダでの経験にあります。アメリカの NGO からウガンダに派遣されていた時に、ある地方の郡のヘルスセンターを訪問しました。10人程のスタッフは出張や研修で出かけていて、一人の看護師が病棟と外来業務を行っていました。外来の奥のベッドで生後数か月の乳児が息も絶え絶えの状態でした。下痢で連れてこられまだ何の手当も受けていませんでした。すぐに点滴を開始しましたが、残念ながら亡くなってしまいました。その時に、患者や家族にやさしいモデルになるような診療所を作りたいと決意しました。



講師

山元 香代子氏

昭和 31 年 1 月 25 日生まれ。約 9 年間の宮崎でのへき地勤務などを含め 15 年、日本での地域医療に携わり、発展途上国での医療活動に関心を持ちます。WHO 西太平洋地域事務局医務官、JICA 専門家として活動を行い、ザンビア滞在中にへき地診療の必要性を強く感じました。そして、平成 22 年にザンビアの医師免許を取得し、23 年から巡回診療を始めました。

Career

<学歴>

S. 55 自治医科大学卒業
H. 6 医学博士 自治医科大学

<職歴>

S. 55. 4 - H. 2. 3 宮崎県環境保健部 以下の病院に派遣
S. 55. 4 - S. 57. 5 宮崎県立宮崎病院にて研修
S. 57. 6 - S. 59. 5 椎葉村立病院
S. 59. 6 - S. 60. 3 自治医科大学 小児科(9ヶ月)/地域医療(1ヶ月)
S. 60. 4 - S. 61. 5 宮崎県立日南病院 小児科
S. 61. 6 - S. 62. 5 東郷町立病院
S. 62. 6 - S. 63. 5 宮崎県立日南病院 内科
S. 63. 6 - H. 1. 5 西米良村立病院
H. 1. 6 - H. 2. 3 椎葉村立病院
H. 2. 4 - H. 5. 3 自治医科大学 予防生態 助手
H. 5. 4 - H. 6. 3 焼津市民病院 小児科
H. 6. 4 - H. 7. 3 ゆきぐに大和総合病院 小児科医長
H. 7. 4 - H. 12. 1 WHO 西太平洋地域事務局 医務官
Diarrhoeal and Acute Respiratory Disease Control (GDR) and Integrated Management of Childhood Illness (IMCI)
H. 12. 3 - H. 13. 4 USAID DISH II プロジェクトウガンダ
小児保健アドバイザー
H. 13. 7 - H. 15. 3 串間市立病院 小児科医長
H. 15. 4 JICA 専門家 地域保健 フィリピン
H. 15. 8 - H. 17. 3 JICA 専門家 地域保健 フィリピン
H. 17. 7 - H. 19. 7 JICA 専門家 保健計画・管理 ザンビア
H. 19. 9 - H. 19. 11 さくら診療所(21年以降、年に2-3回、2-3週間ずつ非常勤勤務)
H. 19. 12 - H. 21. 3 藤元早鈴病院検診センター非常勤
H. 20. 5 - H. 23. 6 宮崎県赤十字血液センター非常勤
H. 22. 12 ザンビア共和国医師免許取得
H. 23. 8 - 11 ザンビア共和国チボンボ郡リタ郡病院で
ボランティアとして勤務
H. 23. 10 - 現在 チサンバ郡ルアノ地区で巡回診療開始
H. 24. 1 - 現在 鹿児島県愛誠会昭南病院非常勤

以後1年の内3ヶ月毎に半年をザンビアで、半年を日本の病院で勤務する

2020年

1.18 土

13:00~14:30

宮日会館

11F 宮日ホール

〒880-8570

宮崎県宮崎市高千穂通1-1-33

公益社団法人
生命保険ファイナンシャルアドバイザー協会

問い合わせ先:

090-3322-6040 (西府)

090-2581-9605 (土橋)